

患者の皆様へ

2020年4月6日

血液内科

現在、血液内科では、同種移植後のサイトメガロウイルス感染予防に関する調査研究を行っています。関東造血幹細胞移植共同研究グループ（KSGCT）が行う後方視的研究であり、今後の治療に役立てることを目的に、診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

同種造血幹細胞移植後のサイトメガロウイルス感染予防に関する多施設共同後方視研究

2. 研究の意義・目的

同種造血幹細胞移植後にしばしば発症する感染症の一つとしてサイトメガロウイルスが知られています。2018年よりサイトメガロウイルス感染予防薬としてレテルモビル（商品名：プレバイミス）が使用されるようになりましたが、実臨床における投与の有用性に関するデータは十分ではありません。この研究では、関東造血細胞移植グループ参加施設で移植を行った実際の患者さん達の経過から、レテルモビルの有用性を調べるとともにレテルモビル投与が特に有効な患者群を同定することを目的としています。

3. 研究の方法

この研究では、既に移植した患者さんの病気や移植に関する情報（年齢、性別、疾患、ドナーの種類、前処置、移植片対宿主病予防法、サイトメガロウイルス感染の有無、レテルモビルの投与や副作用等）をカルテから収集し、個人情報を除いた上でデータをまとめて統計解析を行い、レテルモビルの有用性を検討します。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院血液研究室の鍵のかかる棚で保管します。

5. 研究機関

関東造血細胞移植グループ参加施設のデータを用います。東京都立駒込病院血液内科を代表機関と共同して作業を行います。東京都立駒込病院血液内科では解析用データの作成と統計解析を行います。

6. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院 血液内科

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院血液内科 医師 堺田恵美子

住 所 : 千葉市中央区亥鼻1-8-1

電話番号 : 043 (222) 7171 (内線5259)

研究代表機関 : 都立駒込病院 血液内科 遠矢 嵩

住 所 : 文京区本駒込3-18-22

電話番号 : 03-3823-2101 (内線62210)